



# 今、「獅子」が甦る！

## 獅子

制作・ニュース

第97回公演  
三好十郎 作  
護柔一 演出

第1号

発行日 2023/10/20  
京浜協同劇団  
☎044-511-4951

### 作品のバックグラウンド

三好十郎が、渾身の力をこめてこの作品を書いたのは戦時中であつた。演劇公演に対する厳しい検閲があつた時代、国策に沿って戦争協力者を登場させ巧みに検閲を通した。

「人間一生のうちで本当にしたい事があつたらその時は崖から飛び降りるつもりでせにやならんぞ」

移動演劇・桜隊の丸山定男らが、広島陸軍病院で公演した後、若くして肢体不自由となつた兵士、傷痍軍人の一人が「胸をうたれた。そうやって生きて行こうとおもつた」と感想を語つたという。

お国の為に生きろとはいわず自分のために自分の信じるもののために、必死で生きる。作者が作品に込めた思いが伝わつたのである。



三好十郎 (みよしじゅうろう)

1902年〜1958年

◆昭和初期から、終戦後の復興期にかけて活動した劇作家、詩人、小説家。

### 私たちも「獅子」の舞台に客演します。



辻村夏穂さん  
娘/お雪役

高岡諒一さん  
圭太郎役

鶴田尚子さん  
ソデ役

小川がこうさん  
小次郎役

城谷昇汰さん  
春二役

### ◆『獅子』には4人の若者が登場します。

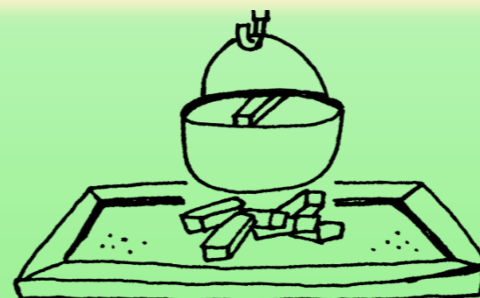
京浜協同劇団には残念ながら・・・そこで、春の「モモ」に出演した若い俳優さんに声掛けしたところ、快く応じてくれたのが、高岡さん、辻村さん、鶴田さん、そしていつも京浜の舞台でお馴染みの、小川がこうさんが客演して下さいました。今回初めて京浜の舞台に出演する城谷昇汰さん(高1)は、城谷護のお孫さん。

皆さん演劇大好きな人たちです。なんと！がこうさんは「東演」の新人時代に主役の吉春役を演じたという心強い経験者です。高岡さんは「俳優座」所属、鶴田さんは「銅鑼」所属。素敵な俳優陣を客演に迎え、稽古場にはピリッとした空気が満ちています。演出の護柔も必死に勉強しながら『獅子』の世界を創っています。とても良い舞台になりそうな予感！スペース京浜が甲州・勝沼の農家に変わります。出演者一同思いはひとつ、高まる期待に応える舞台にしたい！お待ちしております。

### ◆ 予約制

◎前売・一般 3000円  
学生・障がい者 1500円

HPはこちら



### 会場 = スペース京浜

11月	18	19	23	25	26
	(土)	(日)	(木)	(土)	(日)
11時	●	●	●	●	●
15時	●	●	●	●	●
19時	●	●	●	●	●

※注意:夜の部は18日だけです。

京浜協同劇団 《この日この地でこの人々と》 〒212-0052 川崎市幸区古市場2-109 連絡先 ☎044-511-4951

Fax 044-533-6694

メール: [keihinkyoudougekidan@nifty.com](mailto:keihinkyoudougekidan@nifty.com) <https://www.keihinkyoudougekidan.com>